九州MaaSサービス拡大事業｜一般社団法人　九州MaaS協議会

2026/03/11

目的:九州MaaSのサービスを拡大するため

- MaaSアプリ「my toute」の機能拡張による公共交通の利便性向上
- 位置情報データの取得により移動を可視化、分析し、利用者のニーズに合ったサービス提供や、プロモーション等の検討

事業内容:アプリ機能拡張、プロモーション等の実施

【①MaaSアプリの機能拡張・新規商品の造成】
- 公共ライドシェア（平戸）、AIオンデマンド交通（上熊本・宮崎）での経路検索・新規チケット、チケットまとめ機能、時間帯限定機能、特典クーポン改善、GTFS化、新規乗車券の作成を行った

【②ABT方式によるQRコードチケッティングの展開】
- QR乗車券の判定処理開発、運用管理ツールの構築・設定、MPM認証機能の開発、QR乗車券の作成を行った

【③タクシー配車システムの開発及び実証実験】
- 配車システム開発、特急ゆふ列車内で降車駅からのタクシーを手配できるサービスを提供

【④利用促進を目的としたプロモーション施策の実施】
- SNSによる情報発信、WEB広告の配信、海外広告の展開を行った

【⑤WebGIS構築・分析】
- My routeで販売するチケット利用者の移動需要傾向を可視化、分析

【⑥エンドコンテンツとの連携】
- JTBの「Enjoy Kyushu」と連携し、施設券の作成を行った

効果

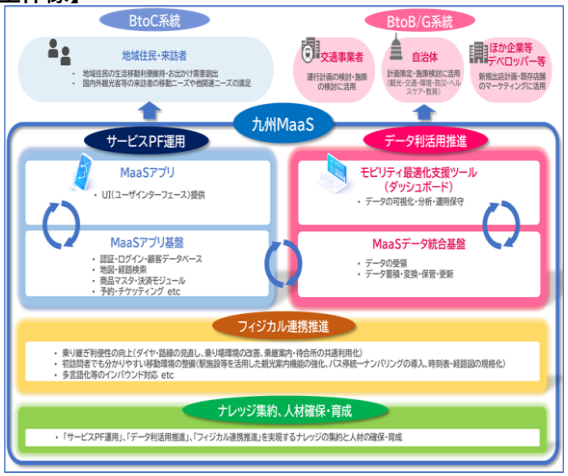
- 課題:乗り合いタクシー、AIオンデマンド交通など交通空白・移動困難地域の解消を目指すモード等との連携が不十分であった
- 効果:
  - 公共ライドシェア、AIオンデマンド交通の経路検索実装完了しモード連携を実現。企画乗車券は31券種作成。
  - QR乗車券の判定処理開発、運用管理ツールの構築・設定、MPM認証機能の開発、QR乗車券の作成
  - タクシー配車システムの構築、特急ゆふを対象にした実証実験実施
  - 九州MaaS SNSフォロワー数11,548フォロワー達成
  - JTBの「Enjoy Kyushu」と連携し、施設券を作成

【実施エリア】



①MaaSアプリの機能拡張・新商品造成
（重点施策エリア）
福岡県北九州市八幡西区　枝光エリア
熊本県熊本市西区　上熊本エリア
長崎県平戸市エリア
宮崎県宮崎市　南宮崎・飛江田エリア
②ABT方式によるQRコードチケッティングの展開
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・宮崎県
③タクシー配車システムの開発及び実証実験
福岡県・大分県（久大本線　5駅）
④利用促進を目的としたプロモーション施策の実施
九州全域
⑤WebGIS構築・分析
福岡県　ノレカエチケットエリア
⑥エンドコンテンツとの連携
九州全域

【本事業の取組の全体像】



【WebGISの画面】



ノレカエチケット利用者の行動を可視化して分析

【ABT方式によるQRチケッティング】



ABT連携により、入出場ステータスの表示とMPM認証を実現

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

九州MaaSサービス拡大事業｜一般社団法人　九州MaaS協議会

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	乗り合いタクシー、オンデマンド交通など交通空白・移動困難地域の解消を目指すモード等との連携が不十分	本事業により、乗合タクシー1件、オンデマンド交通2件、ライドシェア1件との連携実現
2	人口減少・高齢化・担い手の不足等により、交通事業者が厳しい事業環境にある中で、地域交通ネットワークの利便性・持続性向上が求められる	MaaSアプリ上の機能拡張、更にお得で便利なチケットや観光商品を発売することで、新規をはじめとした乗車券の販売枚数が増加し（約50,780枚/月）、持続性が向上した
3	観光地の二極化（オーバーツーリズムと閑散地域）	JTBの「Enjoy Kyushu」と連携し、九州中の施設券を100商品ほど販売

KPI

【凡例】 赤字：目標達成　青字：目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	乗車券の販売数増加	乗車券の販売数	アプリベンダーから提供を受ける	四半期ごと	45,000枚/月	50,317枚（2月までの平均）	チケットの新規造成やプロモーション等を行ったため
2	QR認証可能なチケットの造成数	チケット造成数	アプリベンダーから提供を受ける	四半期ごと	17券種	31券種	期中に当初計画外の自治体・事業者連携チケットや自社施策チケットが多く発生したため
3	タクシー配車システム	配車依頼数	システムに登録される配車依頼実績を集計	月1回	7件/月	6.2件/月	利用者数の多い由布院駅などを含め検討していたが、タクシー事業者との調整が難航し、実証実験の対象に含めることができなかったため
4	九州MaaSの取り組みの認知向上	協議会SNSフォロワー数	フォロワー数はアカウントページで常時確認可能	月1回・適宜WGで報告	5,000フォロワー	13,437フォロワー（2月末時点）	九州内の観光地・地域イベントと訪問に適したチケットを組み合わせた記事投稿が多くの支持を集めたため
5	自治体主導のボーダレス・葉の交通事例創出	モデル事例数	各事業者へのヒアリング	年1回 適宜WGにて進捗確認	4件	4件	関係者との協議を計画的に行ったため

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.